

エクセルシア/エクセルシア ES

停電時の対応方法

エクセルシア及びエクセルシアESは、常にパラフィンにヒーターをかけて溶かしておく必要がある装置です。機器の通電が切れると徐々に固まり、完全に固まるとパラフィンが入っている樹脂製のタンクに不具合が生じる可能性があります。

併せて、停電復帰後は一斉通電による電圧降下やスパイクノイズが発生しやすく、電源コードが繋がったままでは機器に重大な影響(基板類、電源類の破損)を及ぼす可能性があります。そのため、下記の停電対応をお願いいたします。

事前準備

注意: 停電前に、フラッシュ(洗浄)まで終了させてください。

(A) 停電時間が短時間(～4時間)の場合の対応方法

1. 停電前に機器の電源を切り、シャットダウン確認後、電源コードを抜いてください。

(B) 停電時間が長時間(4時間以上)の場合の対応方法

1. ワックスタンクのパラフィンを全て廃棄してください。

<パラフィン廃棄手順>

- * 処理槽内に検体やバスケットが無い事を確認してください。
(画面上の処理槽もバスケットが入っていない表示であること)
- * WWIにワックス廃棄トレイ(ビニール入り)が入っているか確認してください。
- * エクセルシアESで日常業務画面をご使用の場合は、Optionsを押したあとMenu Modeを押し、メインメニュー画面にしてください。

- a) メインメニューから9番の「Reagent & Wax Checks(試薬とワックスの管理)」を選択し、Selectを押してください。
- b) W1にカーソルを合わせて「Inspect Wax」を選択してください。パラフィンが処理槽内に全量引きこまれます。パラフィンが処理槽内に全量引きこまれたら、処理槽を温めるため30分位おいてください。
- c) 十分処理槽があたたまったら、「Discard ALL」を選択してください。
処理槽内のパラフィンがWWの廃棄トレイに排出されます。排出後はトレイを引き出し、トレイからパラフィンを取り出してください。


*** パラフィン排出前 WWIに！がついている場合は、廃棄トレイを入れた後[Confirm Empty]を押してください。**

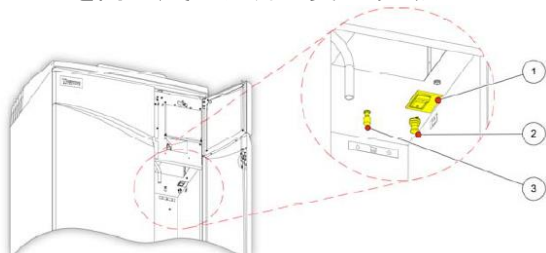
- d) 空になったWWIに廃棄トレイをセットしてください。
- e) W2にカーソルを合わせて、同じようにb)とc)を行ってください。
- f) W3にカーソルを合わせて、同じようにb)とc)を行ってください。

※パラフィンを後で使用したい場合は、パラフィン取り出し時に各槽毎に分けて保管してください。その際、常温に置いておくと固まります。可能な限り恒温槽等で溶かした状態にしてください。

2. 処理槽内を洗浄するため、フラッシュを実行してください。
3. 停電前に機器の電源を切り、シャットダウン確認後、電源コードを抜いてください。

停電後の対応

1. 停電が終わり、通電確認ができましたら、電源コードを挿して電源を入れて下さい。
2. 機器が立ち上がると「言語選択」の画面になりますので「English」で「Select」を押して下さい
3. 画面上に処理槽ヒータートリップアラート  がでていますので、本体下部の試薬保管庫扉を開け、その天井右奥にある黒丸のスイッチを押し上げて下さい。



4. 4時間以上の停電で、パラフィンを抜いている場合は、ワックスタンクにパラフィンを充填してください。